

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 宮寺庸造 副委員長 中村勝一

幹事 東本崇仁・森本容介 幹事補佐 中山祐貴・倉山めぐみ

◎本研究会は参加費が必要になりますので、下記を御参照下さい。

https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/About_ISS_trial.html

◎技術報告電子化の方針を受けまして、ET研では2018年1月より移行致します。そのため、今回から参加が有料となります。ただし、発表者の方は従来同様に掲載・技報代ともに無用です。また、聴講のみの参加（技報不要）の方は、現時点では無料扱いになる見込みです。（移行期のため、これらの料金設定は、今後変更になる可能性がございます。）

日時 1月27日（土） 10:00～16:40

会場 神戸大学（神戸市東灘区深江南町5-1-1。阪神電車：深江下車，徒歩5分または阪急電車：神戸大学海事科学部前下車，または各種バス利用。 <https://www.maritime.kobe-u.ac.jp/map/> TEL〔078〕431-6263 堀口知也）

議題 身体知・スキル教育／一般（情報補償が実施されます）

1. Learning Style Based Collaborative Learning Construction: Can it Improve Group Work in a Real World Learning Environment ○Yiduo Gao・Shin'ichi Konomi・Kentaro Kojima・Atsushi Shimada (Kyushu Inst. of Tech.)・Hiroaki Ogata (Kyoto Univ.)
2. リアルタイム学習分析に基づく講義支援 ○島田敬士（九大）・緒方広明（京大）・木實新一（九大）
3. 問題解決行き詰まりと解決知識想起との関連性検証の試み
○児玉賢俊・松田憲幸（和歌山大）・小川修史（兵庫教大）・平嶋 宗（広島大）
4. 問題の自動生成とバックトラック型学習支援手法に関する研究
○儀保敬人・花城涼太・桃原岳史・宮里智樹（琉球大）

午後（13:20～）

5. 対象世界上で学習者プログラムの挙動を視覚化する学習支援システムの構築
○手塚大貴・小西達裕・小暮 悟・野口靖浩（静岡大）・山下浩一（常葉大）・伊東幸宏（静岡大）
6. 初級的なリファクタリングを誘導するプログラミング演習としてのコードレビュー支援ツール—C言語の未完成冗長なコードの改良を例題とする試行実践— ○植 勇希・富永浩之（香川大）
7. HI 入出力機器と VR 素材を用いた操作式解答によるマルチメディア学習システム—中高生への科学イベントを想定した簡単な問題の事例— ○石井怜央・富永浩之（香川大）
8. 大学内 IT トラブルシューティングのプロセスを支援する潜在ニーズ可視化エージェントの開発
○米谷雄介（香川大）・佐藤 敬（北九州市大）
9. ネットコミュニケーションのトラブル予防のための行動選択シミュレーションを用いた教育プログラムの開発と評価 米田謙三（放送大）
10. 暗黙知獲得のための学習支援教材—体育実技の学習支援— ○神谷勇毅・高井和男（鈴鹿大短大部）
11. 文の構造的指標に基づく分かりにくい文の分類方法の検討 ○大野博之（東京医療保健大）・稲積宏誠（青学大）

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

◎本研究会では、神戸市難聴者協会様の御協力のもと、要約筆記を行います。

☆ET研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

3月3日（土）高知工科大永国寺キャンパス〔1月5日（金）〕テーマ：電子教科書・e-Learningの標準化と活用／一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

東本崇仁（東京工芸大）

E-mail: t.tomoto@cs.t-kougei.ac.jp

◎研究会発表の第1著者は、1研究会あたり1件までです。

◎原稿締め切り日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は原則認めていませんので御注意下さい。

◎原稿は、4または6ページでお願い致します。5ページは極力お避け下さい。3ページ未満、7ページ以上は認められません。

◎本研究会の取り組みなど、詳細はET研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/iss/et/>